

# 英語力 5分で判定

CDを聞きながら、空いている( )の中に、英単語を入れて下さい。

01. The majority of people have at least one pet at ( )<sup>1</sup> time in their ( )<sup>2</sup>.
02. Sometimes the relationship between a pet ( )<sup>3</sup> or cat and its owner is ( )<sup>4</sup> close
03. that ( )<sup>5</sup> begin to resemble ( )<sup>6</sup> other in their appearance and behavior.
04. On the other ( )<sup>7</sup>, owners of unusual pets ( )<sup>8</sup> as tigers or snakes
05. sometimes ( )<sup>9</sup> to protect themselves ( )<sup>10</sup> their own pets.
06. Thirty years ( )<sup>11</sup> the idea of an inanimate ( )<sup>12</sup> first arose.
07. This was the pet ( )<sup>13</sup>, which became a craze ( )<sup>14</sup> the United States and
08. spread ( )<sup>15</sup> other countries as ( )<sup>16</sup>.
09. People ( )<sup>17</sup> large sums of money for ordinary rocks and assigned ( )<sup>18</sup> names.
10. They tied a leash around the rock and pulled ( )<sup>19</sup> down the street just ( )<sup>20</sup> a dog.
11. The rock owners ( )<sup>21</sup> talked ( )<sup>22</sup> their pet rocks.
12. Now ( )<sup>23</sup> we have entered the computer age, ( )<sup>24</sup> have virtual pets.
13. The Japanese Tamagotchi--( )<sup>25</sup> imaginary chicken ( )<sup>26</sup>---
14. ( )<sup>27</sup> the precursor of ( )<sup>28</sup> virtual pets.
15. Now there ( )<sup>29</sup> an ever-increasing number of such virtual ( )<sup>30</sup>
16. which mostly young people are adopting ( )<sup>31</sup> their ( )<sup>32</sup>.

## 岐阜大教授が開発

# 従来テストと精度近似

たった5分で英語力を判定——。岐阜大の牧秀樹教授(言語学)が、短時間で英語の能力を測れる「最小英語テスト(MET)」を開発した。英語検定やTOEICなど長時間を要する従来のテストに近い精度があるといい、効率性の高さから、入学試験や採用試験などでの活用も期待され、注目を集めている。

(岡花拓也)

METは「The Minimal English Test」の略。テストは①所々に空欄が設けら

①METの問題文  
②METを開発した岐阜大・牧教授

れ、穴あきの状態の短い英文が配られる②その英文が英語で読み上げられる③読み上げられた通りの文章になるよう、空欄に適切な単語を記入する、という方式。5分間で終了する単純な内容だが、牧教授が16年間かけて1万件以上のデータを集め、TOEICなど従来型のテスト成績とMETの成績の関係を調べたところ、得点結果が比例するところがわかったという。

牧教授は愛知県西尾市出身。米コネティカット大学院で言語学を学んだ後、2002年に岐阜大地域科学部に移るまでは、ウェストバージニア州の大学で現

地の学生に日本語を教えていた。その際、日本語の音声聞きながら問題文の空欄にひらがなを書き込む方式の日本語テストにヒントを得て、METの開発に着手した。

METは、英語を正しく聞き取るリスニングの能力だけでなく、英文の読解力なども問われ、英語能力の総合力を測ることができるという。牧教授は「音声を

聞きながら次に来る単語を予想したり、英文の意味を瞬時に捉えたりする必要があり、語彙力や文法知識も必要とされる」と分析する。

METの利点として、牧教授は、短い試験時間以外にも、問題作成の容易さや、得点結果の信頼性の高さ、ゲーム感覚で受験者のやる気を引き出せることなどを挙げる。すでに、関心を持った県内の大手企業に問題

の提供を始めているという。今月23日には、問題文に音声CDが付いた書籍「The Minimal English Tests 研究」(開拓社、税抜き3800円)を出版予定だ。牧教授は「METを様々な分野で活用してくれることを期待している。今後とも試行錯誤を続け、ほかのテストとの相関をさらに強めたい」と話している。

読売新聞 2018年10月3日

